

## 第5回小牧市教育振興基本計画検討会議会議録

1 開催日	平成29年3月24日(金)	
2 開催場所	市役所本庁舎4階402会議室	
3 出席した委員	会長 柴田好章 委員 永井勝彦 委員 森澤洋美 委員 今枝健 委員 倉知雪春	委員 青山絵美 委員 丹羽三枝子 委員 舟橋尚女 委員 植松浩二郎
4 欠席した委員	伊藤健次、長尾英俊	
5 出席した職員	教育長 安藤和憲 教育部次長(学校教育担当) 伊藤一裕 教育総務課長 松永有紀彦 図書館長 山田久 スポーツ推進課長 落合健一 学校給食課長 古里一成 学校教育課主幹 梶田光俊 まなび創造館長 船橋嘉成	教育部長 大野成尚 教育部次長(社会教育担当) 鍛冶屋勉 学校教育課長 中谷直 文化振興課長兼小牧山課長 村田吉隆 生涯学習課長 岩本淳 こども政策課青少年育成係長 丸田強士 秘書政策課長 宇野嘉高 保育課長 長谷川隆司
6 その他の出席者	(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 江口陽子	
7 本会議書記	教育総務課長補佐 野田弘	
8 会議内容	(1) 小牧市教育振興基本計画案について	

<開会 午後3時30分>

## 1. 開会

### ○教育部次長（伊藤一裕）

こんにちは。本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。定刻となりましたので、「第5回小牧市教育振興基本計画検討会議」を開会いたします。私は司会進行を務めさせていただきます、教育委員会事務局学校教育担当次長の伊藤でございます。よろしく願いいたします。

—出欠の確認—

### ○教育部次長（伊藤一裕）

事務局側の出席者は18名です。なお、本基本計画の策定業務の受託者である株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所から1名が出席しております。

では、開会にあたりまして、柴田会長よりごあいさつを頂戴したいと思いますので、よろしく願いいたします。

### ○会長（柴田好章）

みなさま、こんにちは。「第5回小牧市教育振興基本計画検討会議」の開催にあたり、ごあいさつを申し上げます。本日は、年度末の大変お忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。昨年11月に開催しました第4回の会議では、小牧市教育振興基本計画の第1章にあたる基本事項と、第3章の推進体制を新たに提示し、この部分を中心に委員のみなさまにご意見をいただきました。また、再度具体的な施策についてもご確認をいただきました。その後、事務局でみなさまからのご意見を精査した上で、市長部局との調整もあり、パブリックコメントに付す基本計画を作成していただきました。すでに、パブリックコメントの期間が終了しているため、この段階からは大きな修正はできませんが、最終的な案として事務局より提示され、いよいよ完成が間近であると認識しております。

本日も、みなさまのご協力を得ながら、会議を進めてまいりたいと思います。簡単ではありますが、冒頭のあいさつとさせていただきます。

### ○教育部次長（伊藤一裕）

ありがとうございました。続きまして、安藤教育長よりごあいさつを申し上げます。

### ○教育長（安藤和憲）

こんにちは。小牧山の桜も開花かと思われましたが、ここ数日、足踏みをしているようです。委員のみなさまには、大変お忙しいところ、本会議にご出席をいただきまして、ありがとうございます。

この会も足掛け2年ですが、パブリックコメントが終了し、策定の最終段階を迎えております。今後のスケジュールは、本日の検討会議において審議を経た最終案を、30日に

予定されている第2回臨時教育委員会でご議決をいただき、4月1日にスタートとなります。本日の資料には、市長部局が策定を進めている小牧市教育大綱案を掲載しております。ここに示されている基本目標は、小牧市教育振興基本計画の内容とすべて共有しております。基本目標の実現に向けた具体的な諸施策が、まさにこの小牧市教育振興基本計画の中で示されております。何度も申し上げますが、今後10年の小牧市の教育指針として位置付けをしている計画です。本日をもって、すべての検討を終了したいと思っておりますので、委員のみなさまのご協力をいただきたいと思います。

本日は、よろしく願いいたします。

**○教育部次長（伊藤一裕）**

ありがとうございました。では、議事に移る前に、資料の確認をさせていただきます。

—資料の確認—

**○教育部次長（伊藤一裕）**

では、次第に沿って進めさせていただきます。ここからの議事の取り回しにつきましては会長をお願いいたします。

**2. 議題**

**○会長（柴田好章）**

それでは、議題（1）小牧市教育振興基本計画案について、事務局よりご説明願います。

（1）小牧市教育振興基本計画案について

—説明— 資料 小牧市教育大綱 小牧市教育振興基本計画（案）

**○会長（柴田好章）**

ありがとうございました。今回は、小牧市教育振興基本計画調査検討委員会が最終的にまとめた案として、検討会議にかけております。全体を見ていただき、何か質問やご意見はございますか。

**○委員（倉知雪春）**

修正箇所一覧の下から2つめ、29ページの「外国人児童が」を「外国にルーツを持つ児童が」に変更するとありますが、何に基づいてこのような表現にされたのでしょうか。

**○学校教育課長（中谷直）**

「外国人児童生徒」という表現では、日本国籍ではないという捉え方をされがちです。しかし、ここでは、国籍を問わず、帰国子女や保護者が外国籍で日本語教育が必要な子どもなど、幅広い子どもたちを対象としています。このような施策を必要とする子どもたち

を総称して「外国にルーツを持つ」という表現がよく使用されるため、変更させていただきました。

#### ○委員（倉知雪春）

外国人の子どもだけではなく、帰国子女など日本人の子どもも対象となるため、そのような表現になっているということですね。分かりました。

#### ○スポーツ推進課長（落合健一）

先ほどのご説明の中で、私が所管する部分に関して1か所訂正をお願いします。計画案85ページの「③他計画との関係」の下の表で、「スポーツ振興計画」の「意見を求める会議等」の名称が「スポーツ推進会議」となっていますが、「スポーツ推進審議会」に訂正をお願いします。

#### ○委員（丹羽三枝子）

計画案82ページの「基本目標2」の一番下の「学校給食で地元農産物を使った日数の割合」について、15.1%を基準値としており、これを上向きにするのが目指す方向であることは理解できます。食育計画など色々な方面から出された方向性だと思います。ただ、地産地消は大変いい取り組みですが、天候にも左右され、量的に生徒数分をまかなえるのか心配です。1%でも上がれば、上向きということだと思いますが、見通しはどのようなものでしょうか。

#### ○学校給食課長（古里一成）

地元の農産物だけでは小牧市全体をまかなうことができないため、それぞれのセンターごとに日数を決め、地元産農産物を使った給食を提供しています。そのため、基準地より上昇傾向にあると思います。また、高齢者生きがい活動施設のみどりの里でつくっている小松菜や三つ葉も地元産農産物として使用しているので、もう少し数値が上がるのではないのでしょうか。

#### ○委員（丹羽三枝子）

地域にもよるということですね。分かりました。

#### ○委員（船橋尚女）

計画案56ページの写真について、テーマを決めて関連図書を集めて紹介する図書コーナーの写真だと思うのですが、2点とも見にくく分かりにくいのではないかと思います。FDAコーナーは、フジドリームエアラインズという企業一つを取り上げているコーナーなので、計画に写真を掲載するのはどうかと思いました。図書館のホームページが充実しており、過去の図書コーナーの写真が載っているのですが「花と緑バラ・アジサイ」や「若い人に贈る読書のすすめ」などは、とてもいい取り組みだと思いました。他の写真への変更も検討していただければと思います。

#### ○図書館長（山田久）

写真が不鮮明でわかりにくいため、改めて検討させていただきます。

### ○委員（森澤洋美）

計画案58ページの「こまなびサロン」についてですが、年2回全戸配布される生涯学習情報ガイド「こまなび」の写真を載せていただきたいです。市民がもっている冊子が計画に載っていると、身近に感じることができるのではないかと思います。

### ○生涯学習課長（岩本淳）

ご指摘ありがとうございます。市民の方に分かりやすくというご意見ですので、ぜひ掲載したいと思います。事務局内で調整させていただきます。

### ○委員（永井勝彦）

先ほどの説明にありましたが、18ページ、19ページの間に体系図が入ったことで、37の施策が、どのように基本理念に紐づいているかが非常に分かりやすくなりました。色々な施策が一つの流れの中にあることがよく分かります。ただ、体系図を見て、例えば先ほどの「外国にルーツをもつ児童生徒」について、本文のどこに出てくるかを知りたいときは、一度目次にもどらねばなりません。見づらくなるかもしれませんが、施策の右側に、掲載しているページ数があるといいのではないかと思います。紙面の構成の問題なので、修正の仕方は事務局におまかせします。

### ○委員（船橋尚女）

よく考えてもらっている計画で、いいなと思いました。基本理念の文字の形で、「愛」「夢」「生きる力」だけ、目立つように色を変えたりできればと思いました。

### ○委員（倉知雪春）

33ページの下に「情報モラル教育」の写真がありますが、写真が物語るものが非常に少ないように感じます。それなら、表の下から3番目にある「児童生徒のボランティア活動の促進」に関連する中学生の「ジュニア奉仕団」の活動が盛んなので、活動の様子が一目でよく分かる写真を載せる方が訴える力が強くなると思います。

### ○委員（船橋尚女）

「ジュニア奉仕団」の活動の写真は32ページに入っています。

### ○委員（倉知雪春）

32ページに入っているなら、結構です。

### ○会長（柴田好章）

確かに33ページの写真からは、コンピューター学習をしていることくらいしか分からないので、事務局でご検討いただき、修正ができるならお願いしたいと思います。

### ○委員（植松浩二郎）

80ページの「計画推進にあたっての体制」の「①計画の周知と各種情報の収集・発信」に「本計画に掲げた基本理念や基本目標」とありますが、基本理念や基本目標は、小牧市教育振興基本計画ではなく小牧市教育大綱に掲げられているのではないのでしょうか。また、次の段落に「本計画に位置付けた各種施策・事業」とありますが、同じページの

「②関係機関等との協働による推進体制」では「本計画に掲げられた施策・事業」となっています。読んでいて違和感があるわけではないのですが、「位置付け」と「掲げる」には意味の違いがあるのでしょうか。

**○教育総務課長（松永有紀彦）**

今のご指摘については、「位置付け」に統一する方向で修正させていただきます。

**○委員（船橋尚女）**

16ページの「（1）計画策定の背景と趣旨」の文章の最後ですが、「策定します」でいいのでしょうか。この計画書を出しているということは、ここは「策定しました」の方がいいように思います。

**○教育総務課長（松永有紀彦）**

現在策定中のためこのような表現になっておりますが、今年度中に策定し、案がとれた時点で、策定したことになるので、「策定しました」と改めさせていただきます。

**○委員（今枝健）**

95ページの用語説明について、最初に「アクティブ・ラーニング」とありますが、この言葉が本文の何ページに載っているかを書くと分かりやすくなると思います。また、掲載ページには、95ページに用語説明があることも書いてもらいたいです。

**○ジャパンインターナショナル総合研究所（江口陽子）**

巻末にページを付けるというのがありますが、本文中に※印などを付け、※印があるものについては、巻末に用語説明があるという文章を冒頭に追加させていただこうと思います。

**○会長（柴田好章）**

難しい用語にも対応できるよう、用語説明を付けていただいたので、難しい用語なのに説明がないとにならないようにしていただきたいです。

いくつか検討していただきたい点もありました。修正できるものはしていただき、後は事務局にお任せしたいと思います。では、以上で本日の議題は終了しました。委員のみなさま、ありがとうございました。進行を事務局へお返しします。

**○教育部次長（伊藤一裕）**

柴田会長、ありがとうございました。

### 3. その他

**○会長（柴田好章）**

それでは、その他について、事務局よりご説明願います。

**○教育総務課長（松永有紀彦）**

平成27年度、28年度の2か年にわたり、全5回の会議でありましたが、今回をもちまして最終回とさせていただきます。誠にありがとうございました。今後の進め方ですが、

小牧市教育振興基本計画案については、平成29年3月30日に開催される臨時の教育委員会に報告し、事務手続きを経て策定という運びになります。策定年次は平成28年度になります。

本日いただきました字句の修正や写真へのご意見については、事務局で修正を加えさせていただきます。市民への周知については、広報こまき4月1日号でパブリックコメントの結果報告として、意見が何もなかったという報告を掲載します。教育大綱と基本計画の策定についての周知は、5月1日号の広報こまきに掲載する予定です。いずれも市のホームページにも掲載予定です。この基本計画書は、非常にボリュームがあるため概要版を作成してまいります。基本計画から抜粋し、8ページにまとめる予定です。事務局からは以上です。

**○教育部次長（伊藤一裕）**

全体を通して何かご意見やご質問はございますか。ないようですので、これをもちまして「第5回小牧市教育振興基本計画検討会議」を閉会させていただきます。ありがとうございました。

<閉会 午後4時30分>